

## 令和7年度 地域連携推進会議（グループホーム）議事録

日時：令和7年2月13日(金)18:00~18:30

場所：高森寮ミーティングルーム

参加者：福祉に知見を有する方 2名（社会福祉協議会、役場住民福祉課）

地域住民 1名（色見戸狩地区）

利用者家族 1名、

利用者 1名、

施設職員 3名（施設長、事務長、事務員）

### 1. 推進委員紹介

名簿を参照し、参加者を紹介する。

### 2. 施設長挨拶

推進会議の目的について、構成員の任期は2年間とすることを確認する。

### 3. 会議内容

施設長より、グループホーム利用者の障がいの種別、出身地、年齢について報告する。グループホームは敷地内に4カ所、町内に1ヶ所、合計5カ所。施設入所に比べると障がいの程度は軽く、居室はすべて個室となっています。日中は、養鶏の仕事で働くなど日中活動に行かれています。卵は1個50円で販売しており、収益はすべて利用者さんの工賃になります。職員は主に早朝から朝食まで、夕食から就寝までの時間帯にいます。休日にはドライブや買い物支援をしています。ご自身で自転車やバスに乗って買い物に行かれる方もおり、参加されている山田さんは自転車で買い物に行かれています。

夜間は職員がいませんが、敷地内の入所施設の夜勤者が3名いて対応ができますし、何かあれば施設長の私や職員住宅の職員もいますので対応ができます。

### 6. その他

地域住民の方から、今まではこういう会議はなかったのですか、と質問あり。施設長から「令和7年度から義務化された会議で、何かを決めるような会議ではなく地域とのつながりを持つための会議です」と返答。

### 施設長より

現在、約65名の職員が頑張ってくれていてありがたいと思っています。入所施設やグループホーム、その他の事業で使用する食材や日用品などに毎月約300万の支出があり、できるだけ地元で購入するようにして貢献できるように考えています。

また、昨年末には高森町内に子ども図書クラブを開設しました。ここの施設の対象は障がい者ですが、その図書館は障がい者ではありません。定款変更をして事業に追加しました。補助金ではなく、法人の資金で運営していきます。

今月 26 日に NHK のクマロクという番組が取材に来ますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

#### 7. 施設見学の日程について

2/17(火) 午前中 1名

17時半～ 3名

配布資料の見学時のポイントを確認していただく。